

強い風雨に見舞われた 第17回べっぴんマーケット

■ 第四十回目の協議会の概要

第40回協議会が3月25日に開催された。今回は地域の方々、県中央会の方々、横浜国大の教員・学生などを含め、21名の参加があった。今回の協議会では主に、3月14日のべっぴんマーケットの報告、学生による和田町への提案、和田町で現在進行中のプロジェクトの現状報告、今後のイベント日程の提案のほか、まますたンプ事業についての議論が行われ、お店だけでなくイベント等でもスタンプをもらえるようにしてはどうかという提案が行われた。

■ 第17回べっぴんマーケット開催

去る3月14日(土)に今年最初のべっぴんマーケットが開催されました。今回は残念ながら悪天候に見舞われましたが、ローゼン前や駅前広場のステージでは人だかりができ、立ち寄った方々は歌や演奏に聞き入っていました。べっぴんマーケットがまちのイベントとして定着しているを感じさせます。次回は晴れて、さらにたくさんの方々を訪れるイベントになると良いですね。(^^)

【写真上】

■ 学生による和田町改善案

今回の協議会では、学生から、現在の和田町が抱える課題や問題を踏まえ、どうすれば町の魅力を高めることができるかという視点から提案が行われました。

「和田町の課題は公共スペースが少ないことだと考えられる。公園等の自由に使える空間が少ないことや、今ある空間を上手く活用できていないことが課題として挙げられる。

そこで例えば、

- ① 帷子川沿いの空地にベンチを置いたり、護岸の手すりを緑化するなどして親水スペースにする。
- ② 和田公園の隣の空地を公共的空間にして、死角の多い公園を街の安らぎの場にする。
- ③ 駐輪場を高架下などの使われていない場所に作り、駅前の違法駐輪を減らす。

これらの提案が実現できれば、和田町がより魅力的な場所になるのではないかと国大の藤本君。学生からの意見が和田町にとっていいきっかけになればと思います。

■ おしらせ

和田駅前広場に掲示板が設置されます。それにあわせオープニングイベント検討中との報告がありました。キタムラ前に3つ設置予定とのことです。



昼からは風雨も治まり、ステージには多くの人が集まりました。



昨年杉山神社に植樹されたハナモモの木。小さいながらもきれいな花をつけました。

編集後記

3月14日(土)に行われたべっぴんマーケットはあいにくのお天気で、和田べんの販売はお休みしました。楽しみにしていた方々には申し訳ない気持ちでいっぱいです。しかし、今年のべっぴんマーケットはまだまだありますので、次回をお楽しみに！！

【写真下】は、昨年のこどもまち探検で杉山神社に植樹されたハナモモの木です。植えた当初は青々とした葉の茂る小さな木でしたが、赤くきれいな花をつけています。このハナモモがまちのシンボルとなる日まで、あたたかく見守っていきましょう。

和田べんプロジェクト

